

絶景☆富士山 まるごと岩本山 ..花咲案内人活動を終えて..

岩本山公園「2月の花咲案内人」活動

今年の「絶景☆富士山まるごと岩本山」は張り出しデッキが拡張され更に2塔の鉄塔も撤去し一段と整備された環境で開催され、36274人が訪れました。臨時観光案内所の花咲案内人ガイド活動は通常4人イベント日は7人が待機して対応しました。



「3月の花咲案内人」活動

岩本山公園は3月に入り紅梅から白梅に移行し更に三つ葉ツツジや花桃、寒緋桜も加わり、52126人の人達で賑わいました。



「4月の花咲案内人」活動

岩本山公園は4月に入り梅花から桜や花桃に移行し、更にシャクナゲも加わり花が見事に咲き揃いました、生憎雨の日過半数となりましたが、16803人の人達が訪れました。



絶景☆富士山まるごと岩本山..入場者数と活動者数

入場者数
105203名

花咲案内人活動者数
延べ303名

2月1日～4月12日までの期間に岩本山公園に来園したバスは、合計104台でした。富士山世界文化遺産の地として富士市の認知度が向上し、昨年と比べ51台増加し、海外からは10か国のお客様が訪れました。

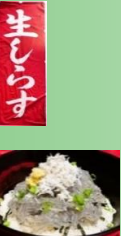
◆当会の丸山会長を「岳南朝日」が一面に紹介

富士市を訪れる人たちに「おもてなしの心」で接し、まちの魅力を伝える富士市観光ボランティアガイドの会の丸山会長が、観光に訪れた人たちに幸せを感じて貰う「感幸(かんこう)」をボランティアガイドのモットーとし、来訪者に富士市の歴史・文化を伝える為、多くの仲間たちと共に尽力して居る事が2月26日(木)の「ヒューマンストーリー人」で紹介されました。



来訪者に「おもてなし」と「感幸」を唱える丸山会長

◆田子の浦港 漁港食堂入場者紹介



今後の「ガイド&研修会」活動予定

参加者を募集しています

「県母親大会」ガイド

日時:6月21日(月)10:00～13:00
来訪者:静岡県母親大会移動分科会 約100名(バス2台)
場所:富士市内・広見公園
ガイド:富士市内巡りガイド募集中
希望者は事務局(川崎)迄

「永明寺」研修

◇時期:6月中旬
・研修内容:大富山永明寺の研修
・講師:加藤住職
・集合場所:現地集合
・申込:参加希望者は事務局(川崎)迄



取材インタビューに参加して

2月28日(土)快晴、寒梅ウエディングの日の岩本山公園での花咲案内人ボランティアガイド担当の際に、活動のPRも兼ねて、ラジオから番組の中でインタビューを受けました。活動期間、梅の総本数、代表品種の紹介、期間中は梅～ツツジ～桜と楽しめる事と、茶畑ウオーキング等、各種イベントの告知を行ない、来場の際には黄色いジャケットのボランティアへ声を掛けて頂く様PRしましたが、インタビューにやっとの思いで受け答えをする自分の勉強不足を痛感致しました。 記:清水善久



「ロマンと泉の郷」ガイド体験談

3月9日(月)湧水ガイド、無事終了しました。役員の皆様のご指導、アドバイス、ありがとうございました。皆さんに喜んでいただき安堵しました。永明寺見学への道をつけていただきありがとうございました。お上人様は、当日不在ですが話しておきますと許可してくださいまして、見学が実現しました。素晴らしいお庭を拝観し、みなさんとても喜んでいらっしゃいました。法雲寺のお上人様にも見学をお願いに上がったところ、よいことですね、がんばってと声援を送られました。ガイドの勉強をする中でいろいろなことがつながってきました。コースを5回下見しましたが、その都度地域の方とお話し、いろいろ教えていただきとてもよい経験ができました。私自身にまさに感動の連続でした。当日は、ご一緒していただいた役員の皆様には、いろいろ教えていただき、大変勉強になりました。皆さんに助けられ、無事務めを果たすことができました。感謝しています。感動に満ちた、とても貴重な経験をさせていただきました。 記:川島けい

観光豆知識 8

テーマ:「富士市の花・バラ」

富士市の花はバラです。中央公園には1000株、広見公園には2000株のバラがあり「色・カタチ・香り等」五感通じて市民を楽しませてくれます。

今回は富士市オリジナルのバラ「かぐや富士(H14商標登録)」の鑑賞をお薦めします。このバラは、つぼみの時はほんのり赤く、開花するに従って純白の大輪になります。名前のとおり美しく気高さを感じます。5月はバラの季節。お楽しみに!!

記:壽



市花:バラ

富士市オリジナルのバラ
「かぐや富士」

◆編集後記◆

出身が浜名湖畔の三ヶ日町なので、時々日帰りでお家に帰ります。東名高速での帰り道、その日は快晴で少し遅くなり暗くなり始めていました。蒲原病院脇を過ぎ富士川サービスエリアを左に見て、急に開けた視界の先に見えたのは富士市街地の「光の海」。富士山はかすかに残る夕べの光で輪郭がみえました。「光の海」から山頂に向かってひかりの点が密から次第にまばらになり、消えて行きます。一つひとつの光が人間の営みと思うと、何よりも愛しい、印象に残る光景でした。川崎記

◆ 田子の浦港 漁港食堂入場者紹介

H23年	H24年	H25年	H26年
16567	29931	57884	60625